

熊本いいくに会 第10回企業塾

『学生の街としての熊本の魅力』

～ 地域における大学の使命 ～

開催日時: 2006年6月26日(月)

開催場所: 熊本県民交流会館パレオ

講師: 熊本学園大学学長 坂本 正 先生

参加者: 約60名



今回10回目の企業塾では、熊本における大学の役割と責務についての重要さをお話していただきました。地域社会への優れた学生の創出のために、未来を見定めて強烈に努力されている坂本学長のお話を聞き、今後の熊本の大きいなる可能性を感じました。

開催時間になってもクーラーの効きが悪く、何度も係りの方に頼んで、何とか汗を流さずにすみしました。

講演の冒頭では、いいくに会特別名誉会長の故石原光太郎氏との出会いや思い出、また坂本学長の石原氏やいいくに会への想いも話していただきました。



お話の前半に、“10年ほど前に『10年で街は変わってしまう』と話しておりましたが、今の熊本は5年で街が変わってしまう激動の時期だと思っておいたほうがいいですね”と言うお話があり、皆さんも仕事だけに限らず生活にも非常にかかわる事なので、お話を聞く目がますます真剣になっていたようです。

坂本学長が住まれている武蔵丘も、『5年前まではとてもすみやすかったが、年齢も体力も変わり街も変わった今ではそうではなくなってきている』と話された時は、思わず皆さんもご自分の住まい環境を振り返られたんじゃないでしょうか？

“都市圏において一定範囲内での学生の数は、福岡より熊本のほうが多い”

皆さんはご存知でしたか？
熊本にも未来の可能性がたくさんあるって事ですよ。



“街づくりのための審議会やシンポジウムなどで言われていることは実際の現状と外れている”

“熊本は住みやすい、繁華街にたくさん学生がいて、いいくに会のような活力あふれる活動がなされていて活気があるというのが現状です”と話されました。

熊本県内の大学や高専が13校もあるそうで、しかも地域への貢献のためにボランティア活動はもちろんの事、何よりも優れた人材の育成と創出のために各学校が取り組んでいただいていると言うことでした。しかも私たち熊本いいくに会には熊本学園大学、崇城大学、平成音楽大学、ルーテル学院大学に参加頂いているという事は大変力強いですね。…ありがとうございます。



これまでの坂本学長の大学内での改革のお話がありましたが、ものすごく大変なご苦労があつての事なんですね。私たち熊本いいくに会も熊本の未来に大きな光をさすために頑張っていきましょう!



懇親会での乾杯のご発声は、(株)富士通南九州システムエンジニアリングの大津社長にお願いし、『私ども企業は就業者の定着率に貢献していきたい』と言うご挨拶をしていただきました。

駆けつけて頂いた石原靖也社長の閉会の言葉の中で、『坂本学長は、企業だけでは守りきれないものも率先して力を発揮される熊本にとっては大切な方です』

いいくに会も100社の企業になれば熊本は変わります。頑張りましょう』と力強い言葉で今回の企業塾は終了しました。



これからの熊本に希望を持てるいいお話でした。これからも、熊本いいくに会の経営者の皆様の講演兼懇親会を『企業塾』として定期的を開催してまいります。これからの熊本を担う皆様方の多くのご参加を心よりお待ちしております。

【次回開催は】7月21日(金) ルーテル学院大学 清重学長を講師としてお迎えいたします。